

目 次

口 絵

刊行のことば

監修のことば

まえがき

凡 例

はじめに

上田市誌刊行会長

上田市長 平尾 哲男

東京大学名誉教授・前国立歴史民俗博物館長 石井 進

1

第一章 正倉院宝物が語る上田小県地方

第一節 律令政治と上田小県地方

一 正倉院宝物と信濃

(1) 世界の宝庫—正倉院

正倉院 正倉院宝物と信濃

(2) 小県郡からの宝物

芥子の布袋に小県郡の名

芥子は中男作物 麻布の紐の心に海野郷爪工部

宝物の物語ること

ちいさがた 『記紀』の記録と小さい県

国県制 『隋書』にみられる稱置

県とは

小県郡名の起こり(1)

小県郡名の起こり(2)

小県とは小子部氏の県

5

5

5

(3) 信濃国造と小県郡	生島足島神	安曇(宗)の地名	13				
二 律令国家の地方政治	大化の革新と公地公民の制	大宝律令と律令国家	地方の政治	国司と国府	14		
	信濃国司の初見	信濃の国府	郡と郡司	郡衙と大領・少領	里(り)と戸籍	郷戸と房戸	19
	郷里制	消えた里					
三 律令時代の税と兵役	班田収授の法	租 調 廉 雜徭	義倉と出拳	兵役	軍団の装備		
	軍団制から健児制へ	こんでい坂	衛士	防人	女性の労働		
第二節 『万葉集』と上田小県地方	『万葉集』と信濃						
一 『万葉集』と信濃	『万葉集』	防人歌三首	大伴家持と防人歌				
二 防人と農民	崎守	防人の任務	防人と東国				
三 『万葉集』の東歌	信濃国にかかる東歌						
四 小県郡と東歌	信濃道は…と保福寺峠	彼の児ろと…と浦野	信濃なる…と須我の荒野				
第三節 上田小県地方にみられる古代の渡来人の足跡	32	32	28	27	26	24	24
一 大陸文化の伝来	渡来人	技術者集団	部民と伴造				

二 渡来人と小県郡

史書にみられる渡来人 小県郡への渡来人 白髭神社 今後の課題

第二章 上田市域を通る東山道

第一節 『延喜式』にみられる七つの駅路

道の役割 駅路 地域名もあらわす七道

第二節 上田地方を通る東山道

一 上田地域に至る東山道信濃路の道筋

信濃国駅馬 神坂峠 木曽路 神坂峠から阿知駅 伊那谷の駅路 駅路と伝路

古東山道 須芳山嶺道 松本平の東山道 東山道の支線

二 上田小県地方の東山道

錦織駅から浦野駅 青木村川西地域の発掘調査から 駅家の構造 浦野駅から曰理駅

曰理駅から清水駅 上田市における古道の発見

三 小諸から東の東山道

浅間山麓の東山道 碓氷坂 東山道の変遷と終焉 道が運ぶ文化

第三章 信濃国府と信濃国分寺

第一節 律令制度の確立と国府

一 律令制度の確立

蘇我氏の滅亡

大化の改新

改新の詔と国づくり

白村江の戦と壬申の乱

律令制度の形成

79

律令制度の確立

律令形成期の都と信濃

二 国府のつくりとはたらき

国府とは

国府・国衙の発掘例

国衙周辺の地名

国衙のはたらき

82

三 信濃国府と上田

『和名類聚鈔』国郡部

国衙の位置を探して

幅の広い道路跡を発見

こうのだいとその周辺

86

四 信濃国府の移転

信濃国府の移転

五 律令政治と口分田班給のゆるみ

農民の逃亡

口分田班給のゆるみ

私有化される土地

律令政治のゆるみ

92

第二節 信濃国分寺の創建と上田地方

一 国分寺建立の発願

信濃国分寺史跡公園

佛教の伝来

飛鳥寺の建立

佛教の興隆

律令国家と佛教

96

国分寺建立の詔

二 国分寺建立事業の推移

100

中央からの支援 郡司の協力 大仏と東大寺の造営 国分寺造営の督促と完成
 三 信濃国分寺跡の発掘調査とその意義

信濃国分寺跡の研究

第一次発掘調査

第二次発掘調査

第三節 『日本靈異記』の説話

一 他田舎人蝦夷と跡目里……

仏教説話 重いはかりで人のものをとる 他田氏

二 大伴連忍勝と娘里……

善惡の報い 大伴氏

三 二つの説話から……

写経 郷と里

第四節 古代の神社と『延喜式神名帳』

一 国司が祭りをする国つ神……

延喜式の神の数 延喜式より以前は

二 上田地方の古社……

上田地方の古代の神社 生嶋足嶋神社 馬背神と馬背神社

八縣宿祢神と五加の八幡宮

三 神への祈り……

神への祈り

第五節 古代の牧と上田小県地方

一 古代の牧……

古墳時代の馬具 中央政府の馬の役所 勅旨牧 信濃国の勅使牧

二 塩原牧……

馬背神と駒弓神 付近に残る牧地名 浦野塩原の地名 塩原牧の成立 跡目里と塩原郷

第六節 上田市域に残る条里的遺構

一条里的遺構について

条里制と条里的遺構

条里的遺構の調査研究

二 条里的遺構の分布

染屋台地

千曲川北岸地区

千曲川南岸地区

塙田地区

浦野川地区

神川左岸地区

174

170

170

第五章 上田地方の古代人のくらし

第一節 奈良・平安時代の上田盆地

一 庶民のくらしと住まい

律令制下の市域

庶民のくらし 住まいの変化

かまどのある住居

奈良・平安時代のムラ

181

二 生活の道具

土師器と須恵器

施釉陶器 その他の道具

184

第二節 上田市域の奈良・平安時代遺跡

一 遺跡の広がり

上田市域の遺跡分布

187

二 神川東岸の遺跡

第一より第二段丘面に多い 林之郷遺跡

太田・法楽寺遺跡

神林遺跡

187

三 千曲川北岸の遺跡

神科台地面から国分寺跡面まで 宮平遺跡

古城遺跡

上沖遺跡

殿田遺跡

明神前遺跡

194

国分寺周辺遺跡群

四 千曲川南岸の遺跡

自然堤防上の遺跡

上田原遺跡

五 塩田平の遺跡

梓木遺跡 西光坊遺跡 天神遺跡 中井遺跡 堀口ノ一遺跡 宮の前遺跡

六 浦野川流域の遺跡

浦野川流域の遺跡

琵琶塚遺跡 高田遺跡 藤之木遺跡 浦田遺跡 駕籠田遺跡

そのほかの遺跡

206

202

199

198

おわりに

執筆分担

あとがき

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙 八葉複弁蓮華文軒丸瓦瓦当（上）と均齊唐草文軒平瓦瓦当（下）
裏表紙 信濃国分寺僧寺講堂跡